

## 社会福祉法人ノーマライゼーション協会

### 福祉事業所も BCP 策定を！

#### I 会社概要

商号	社会福祉法人ノーマライゼーション協会	業種	社会福祉施設
本社・拠点	東淀川区淡路 3-13-37		
設立	1990 年 10 月	事業収入規模	13 億円規模
代表者	理事長 山中 多美男	従業員数	296 名
事業内容	高齢者・障がい者福祉		
URL	<a href="http://www.normalization.or.jp/">http://www.normalization.or.jp/</a>		

#### II 事業継続計画の概要

対象事業	高齢者・障がい者福祉事業	対象リスク	上町断層地震、南海トラフ地震
被災シナリオ	①施設・事業所の大破・倒壊・浸水 ②パソコン等の機器類の破損 ③事業の停止・停滞・縮小による、事業収入の減少		
対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員教育 全職員を対象に年 2 回実施</li> <li>・緊急連絡網訓練、各施設・事業所避難訓練を実施</li> <li>・3 日分の食糧品を備蓄</li> </ul>		

#### III 事業継続計画

##### 1. 東淀川区 BCP 運営会議を機に BCP を策定

阪神・淡路大震災(1995 年)、東日本大震災(2011 年)と大きな地震が発生しましたが、ともに現地に赴きました。その経験からか、「BCP はしっかりしたものを作らないといけない」と思っていました。しかし、「東淀川区 BCP 運営会議」に参加し、コーディネーターの城下英行・関西大学社会安全学部准教授から、「作れるところから始めましょう」というアドバイスを受け、BCP に対する考えが変わりました。

##### 2. 大阪北部地震、台風 21 号が発生

大阪北部地震(平成 30 年 6 月 18 日)、台風 21 号(同年 9 月 4 日)を受けて、改めて最悪の状況を想定することの重要性を認識しました。今回の地震、台風の被害の共通点は 2 つ。1つは、停電になったこと。停電になるとエレベーターが使えないので、配膳が大変でした。停電になり、たんの吸引が必要な方の対応をはじめ、対応に困る課題もありました。階段昇降の機材など、防災グッズの再整備を検討しています。もう一つは、職員の参集が困難で、様々な課題があったこと。現在、現実的な参集や安全配慮を踏まえた就業規則の見直し等を検討しています。

##### 3. 事業継続計画の内容

BCP の中に、あえて「3 日分の備蓄リスト」を入れてあります。備蓄も定期的にチェックし、賞味期限が近づいたものから食べるようにしています。

##### 4. 事業継続計画を実効化するために

防災会議で、日々の防災の課題を取り上げ、防災意識の向上に努めています。BCP は、組織全体の BCP になっていますが、組織は、高齢者部門、障がい者部門をはじめ、多くの組織が存在し、働く場所も内容も時間帯も多岐にわたります。各事業所や拠点ごとに計画が必要と感じています。



ノーマライゼーション協会。2 階の窓下に南海トラフ巨大地震の津波想定水位を表す線を引いて意識を高めている。